

# タテ3が必要のない社会がすぐそこまで!

今国会で成立した道路法の一部改正案は、国が「重要物流道路」を指定すると、世界の海運業界で広く使われている45フィートコンテナ(資料の図を参照。日本は特殊な鉄道貨物コンテナが20フィートものが主流)が当局の許可をとらなくても指定された道路を通過できるようになります。大きなもの重いものを通すには道路、橋、トンネルなどを対応していなければ事故のもと。関東では圏央道、新東名などしか対象になる可能性はありません。

現在、韓国釜山などで日本向けに20フィートコンテナに積み替えられている手間が省かれ、中国や欧米の産地から45フィートのコンテナで直接日本の港に到着し、重要物流道路で広大な貨物配送センター(これ自体がロボット工場、自動タグ読み取りなど30分で配送先別に仕分けできる。図2を参照)に、中間点の積み替え場所をつくれば、この政策メリットが失われますから、都



■大型物流施設 圏央道沿線自治体の大型物流施設立地状況

内には小型車両で効率的に配送する計画です。35号道路どころか既存道路も一部不要となりそうな昨今。東京以外では道路建設計画は次々に中止し、大阪や名古屋など大都市圏では同じ様な環状高速道路構想がすすんでいます。

さらに今後20年ほどで、電気自動車自動運転車両が公道に出てくるようになると、自動車免許も不必要になり、自動車を個人所有するメリットもなくなるので、大幅に自動車数が減少すると専門家は指摘します。どこが減少する自動車市場で主力になれるかをめぐり、世界の自動車メーカーなどが自動運転車両の開発に血道を上げています。

先進国はどれも人口減で、ゴーストタウン化や過疎地が全国で発生。そこでいま、まちづくりの基本は「住民が快適に一生を送れる条件」をどれだけ整えられるのかに重点が。練馬区で一生を過ごすには何が必要か、すくなくとも閑静な住宅街を壊し巨額の費用で道路を造る理由は将来を見据えると、どこにもありません。(早宮・藤好)

## タテ3 ニュース 8

2018年6月 発行

放射35号線を考える会(タテ3の会)  
代表: 神津真久  
練馬区桜台5-12-10  
電話&ファックス: 3991-7748  
Eメール: m.m.koudu@gmail.com

私たちの願い  
自然豊かで静かで安全、  
ご近所とつながりがある  
「まち」に住みつづきたい!

■放射35号線延伸部とは  
開進第一小学校の所から早宮の住宅街や廣徳寺を壊し練馬駅の東側を通り、環七に抜ける計画道路が放射35号線延伸部です。この道路は昭和41(1966)年、50年以上前に都市計画決定され、今まで放置されてきました。

■都市計画道路「第四次事業化計画」  
東京都は平成28(2016)年都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画における優先整備路線)を選定しました。この道路計画の柱として「放射35号線延伸部(早宮～桜台・練馬～豊玉)」(通称:タテ3)が組み込まれ、10年以内に着手とされました。練馬区議会には、平成28年3月に東京都の都市計画道路「第四次事業化計画」が議会で報告されました。



行ってみた

## 補助86号線の現地を訪問しました



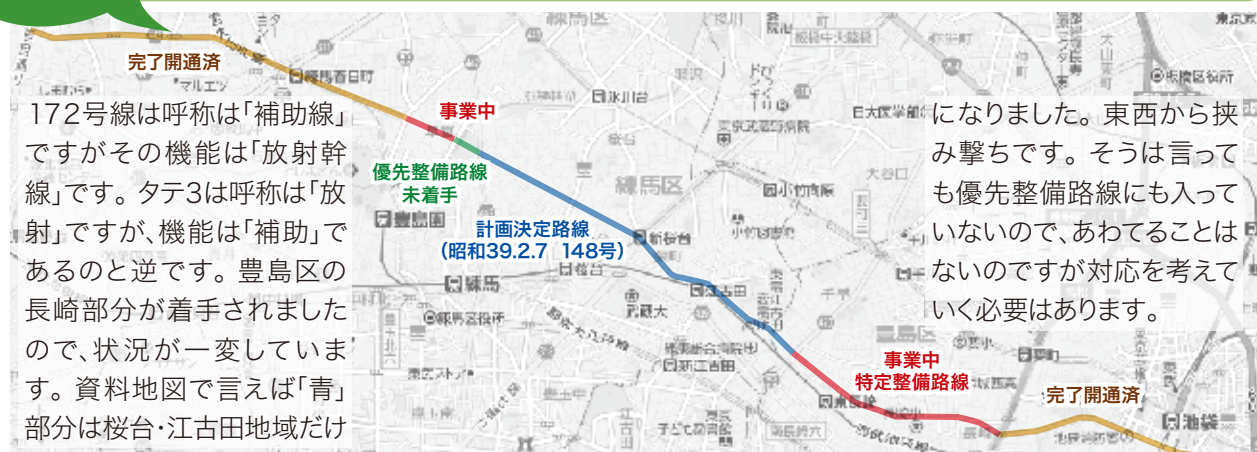
心配した雨も小振りで、田場、要、馬場さんと4人で静勝寺を訪ねました。今回は正面階段を登りました。折よく高崎ご住職が背広姿でお出掛けのところに行き会いました。ニュース8号のため写真をお願いしたところ、直ぐに引き返し袈裟に着替えて下さり恐縮しました。

伸び伸び広がるクローバーの原を歩き回り、道路予定地は此处か!と確認しました。森の下には湧水と循環水からなる池があり、浮間から移築された民家や田圃が展開し、北区の自然の豊かさに感心しました。180年前の葺屋根(葺き替えちゅう)庄屋民家の説明員氏によれば、他にもトンボやホタルの孵化する池があり、夏には明け放された座敷を鬼ヤンマが通り抜けて行くとのこと。この広大な公園が都ではなく区所有とのことと驚きました。戦前この一帯は陸軍の用地で、戦後は自衛隊(車両部隊)が駐屯していたため開発が遅れ、これらの自然環境が残されたとのことでした。

急坂が繰り広げられる街の姿に驚きながら10分程歩き、自然観察園、スポーツの森を散策しました。深い林、

知ってる?

## 補助172号線の現在の進捗状況です



172号線は呼称は「補助線」ですがその機能は「放射幹線」です。タテ3は呼称は「放射」ですが、機能は「補助」であるのと逆です。豊島区の長崎部分が着手されましたので、状況が一変しています。資料地図で言えば「青」部分は桜台・江古田地域だけ

になりました。東西から挟み撃ちです。そうは言っても優先整備路線にも入っていないので、あわてることはないのですが対応を考えていく必要はあります。

7月15日 午後2時～4時半

設立2周年 第3回 総会

午後2時～4時半 区役所19階会議室 入場無料

是非 お出で下さい



## 「環境施設帯10m」をとれば「4車線はできない」

東京都の2回目の回答は、これまで通りの第四次事業化計画にある一般論に終始したのですが、いくつかの点で今後の争点となる問題を含んでいます。その中から2点報告します。ひとつ目は「車線数」です。東京都は『昭和41年当時、6車線の標準断面をもとに計画幅員を定めました。昭和56年に行った都市計画道路の見直しでは……「東京都市計画道路再検討資料」(昭和55年3月)では、昭和41年の計画幅員を変えず、4車線の標準断面構成で検討されたものと考えています。ただし、放射35号線(環状7～放射36)の道路構造は、現時点で決まっておられません』と回答しています。これは現時点では決まっていないと断りながらも「4車線」を示唆するものです。果たしてタテ3は27mで「4車線」をつくれるのか。カギは「環境施設帯」です。図は、現在事業中でありタテ3が接続する放射35・36号線の全体計画図です。図では全線に渡り、両側10mの環境施設帯(茶色の部分)が設けられています。この環境施設帯の目的は「幹線道路の沿道の生活環境を保全するため」であり、道路構造令通達では設置の要

件として「4車線以上の都道」であり「第一種低層住居専用地域等の保全する必要がある地域」とされています。タテ3が通る地域は多くが住居系地域であり、特に原道のないところを通る早宮地域は「第一種低層住居専用地域」であり、当然「環境施設帯」を設ける必要があります。幅員27mで両側10mの「環境施設帯」をとれば残りは7mであり、ここに4車線はつくれません。東京都が4車線で計画をするとなれば、環境施設帯を設けないこととなります。北町や平和台、冰川台、羽沢地域は住環境を保全する必要があるが、早宮、桜台、練馬地域はその必要はないとする認識に東京都が立つこととなります。こうした認識を住民は黙認しないでしょ。



## 「ミッシングリンク論」でタテ3は「無用の道路」

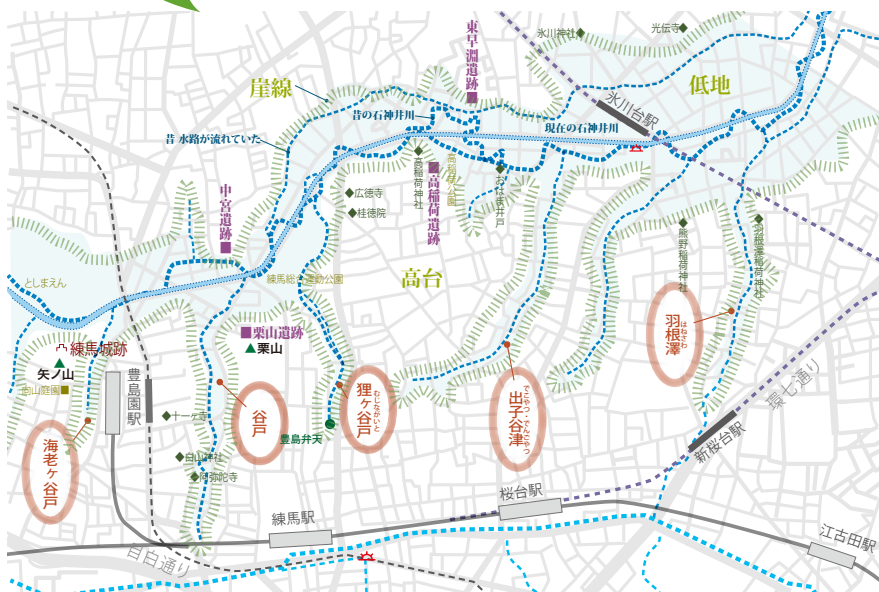
ふたつ目として、都が示してきたタテ3の建設目的です。回答で『放射35号線(環状7～放射36)は第四次事業化計画において、残る骨格幹線道路のうち、主にミッシングリンク(分断されている区間)の解消に寄与する区間として、平成28年度から平成37年度までで優先的に整備すべき路線(優先整備路線)に選定しております。』との認識を示してきました。タテ3部分を建設しないと現在事業中である放射35号線(北部)は分断されたままであるとの認識です。図で放射35(北部)、放射35(タテ3)、放射36の関係を見てみます。放射35号線(北部)は用地買収もほぼ完了し、着工しています。その後に遅れて事業認可されたのが放射36号線です。

放射35号線(北部)の建設目的は埼玉方面からの車を放射36号線に繋いで都心への流れをつくることと説明されています。そして放射36号線の建設目的も、放射35号線の流れを都心へ連続させることとされています。つまり、放射36号線が完成すれば「ミッシングリンク」は解消されることになり、東京都が言う放射35(タテ3)の建設目的は成立しないこととなります。放射35(タテ3)が「骨格幹線道路」といくら自称しても、その任に在らずです。



## 地元を 知ろう!

## 練馬・桜台の凸凹はどうなっているの?



練馬・桜台あたりを東西に歩くと道は登ったり、下ったり。「なぜこんなに凸凹な地形なの」と思いませんか? これは6万年ほど前に千川上水の流れる台地の尾根から、北に向かってさがった石神井川南岸に、いくつも泉が湧き、これを谷頭に小さな谷戸ができたためです。なぜ、川の南側だけ? それは下の地層が固く、荒川に向かい傾斜しているからです。昔はあたり一面畑



練馬第二郵便局裏の狸ヶ谷の様子  
昭和32年11月 写真提供:神津眞久氏

だったので良く地形が判ったのでしょう。それぞれの谷戸に名前がついています。「狸ヶ谷戸」、狸がたくさん住んでいたのかな? 谷戸の中の今は東京オリンピックのために暗渠にされた水路敷きを歩くと水の音が聞こえて来るかも……。探検してみませんか。